

令和5年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者	社会福祉法人ひじり福祉会
指定期間	令和5年（2023年）4月1日から令和15年（2033年）3月31日
施設概要	箕面市立多世代交流センター
市支出額	指定管理委託料・・・54,400,000円（風呂あり）
	指定管理委託料・・・45,550,000円（風呂なし）

2. 事業の実施状況

高齢者福祉機能「松寿荘」事業	高齢者の健康づくりや生きがいづくり
子育て支援機能「おひさま」事業	子育て中の若い世代のサポート
多世代交流に資する事業	高齢者から子どもまで世代を超えた ふれあいの場を提供

3. 利用者の満足度

（1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	令和5年6月28日～令和5年7月31日実施 回答数156件 各項目で「満足」または「おおむね満足」を選択された かたの割合の平均は89%でした。
------------	--

（2）利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	令5年12月14日、4団体に参加いただき、意見交換会 を開催しました。
------------	--

（3）利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	令和5年度（2023年度）箕面市立多世代交流センター 利用者アンケートの「集計」及び「自由記述ご意見に対 する指定管理者の考え・対応」のとおり
-----------	---

4. 収支状況

令和4年度 活動収益	44,282,547円	活動費用	42,107,970円
活動増減差額	2,174,577円	活動外収益差額	▲2,163,986円
当期活動増減差額	10,591円		(事業活動計算書より)

5. 特別提案の状況

<p>地域に開かれた活動の展開</p>	<p>毎年、センターまつりや盆踊りではおひさまルームの利用者にも親子で出演していただき、多世代交流を深めるよい機会となっていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、令和2年2月19日以降、箕面市の指示等により、断続的に多世代交流センターの各活動等も停止や休止せざるを得ない状況が続いていました。今年度は、5月に新型コロナウイルスが2類から5類へ変更され、コロナ感染が一定収束したことにとともに、徐々に各種イベントも復活し、センターまつりは4年ぶりの開催となりました。ただし、諸状況に鑑み盆踊りは4年連続の中止となりました。また人気の高い「稲ふれあい歌おう会」も再開し70回目の記念コンサートを開催したところです。皆さんの要望にお応えし、継続し末永く催していければと考えています。また軽音グランプリやウィンターコンサートなど地域に密着した音楽イベントをはじめ、ボランティアによる日常的なミニコンサートや歌声広場など、利用者をはじめ地域の多くの方々に楽しんでいただけるような活動も徐々に再開し始めているところです。</p> <p>センター主催教室としては、コロナ禍の影響で一度は中止せざるを得なかった「折り紙教室」を再開しました。</p> <p>これからも地域に開かれた魅力ある取り組みを考えてまいります。</p>
<p>フリーマーケットの開催</p>	<p>利用者協議会の協力を得て、平成25年度は「るいちゃん基金」への支援、26年度は「東北大震災復興」への支援、27年度は「鬼怒川の水害被災者」支援、28年度は「熊本地震の被災者」支援、29年度は「九州北部の豪雨災害」への支援、30年度は「北海道胆振東部地震」への支援、令和元年度は「台風15号による被災者」への支援を目的として開催し、毎年好評をいただきしっかりと地域に定着した催しとなってきました。令和3～4年度は、コロナ禍ではありましたが、万全の対策を取りつつ屋外での開催を実施したところ大変好評で、売り上げの一部を歳末助け合い共同募金に寄附させていただきました。今年度は、傷んでいた中庭のウッドデッキが綺麗に修復されたこともあり、感染対策と合わせて屋外での実施となりましたが、市報で案内した効果もあり大勢の方にご来場いただきました。昨年度に続き、歳末助け合い共同募金に寄附させていただきました。今後も支援を目的として、地域の期待に応えたフリーマーケットを開催してまいりたいと考えています。</p>
<p>パン工房の運営</p>	<p>諸般の事情により、平成29年3月末でいったん休業としました。今後の運営再開については引き続き検討をすすめているところです。</p> <p>なお、市内の障害者事業所による週2回のパン販売を実施しており、利用者の方も大変喜ばれています。</p>

6. 指定管理者の自己評価

- ① 入館利用証の磁気カード方式は8年が経過し、利用者にはすっかり定着しているところですが、事務処理も効率化され、外部からの問い合わせなどに対しても利用者の動向把握がより容易に正確に行えるようになっていきます。ただ時間の経過とともに磁気カードの経年劣化がすすみ、不具合が発生することもあり、現在対策を検討しているところです。
- ② コロナ禍の影響もあり、新規の利用登録者は微増で推移しており、同好会活動や各種イベントも制約を受けてきましたが、全体としては概ね満足していただいていると考えています。なお、浴場については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「高齢者の施設であるからこそ感染予防には慎重になる必要がある。浴場は窓を開けての換気ができず、どうしても感染リスクが高くなる」との方針で箕面市と協議し、令和2年2月29日以降閉鎖しているところです。
- ③ 備品によっては老朽化による入替えの必要性があります。利用者に人気の高いヘルストロンはほぼ毎年1台ずつ市が新規設置しているところですが、機器の現況からは、複数台の新規設置が望まれます。一方課題としては、ウォーキングマシンやバイクなどの健康器具は不特定多数の方が頻繁に使用することから生じる機器の故障が多発するという点です。
- ④ コロナ禍での来館者減少期には表面化しませんが、通常期の駐輪場は単車と自転車が増える慢性的な満杯状態であり、事故が起きる前に早急に駐輪スペースを拡張する必要があり、市からの予算拠出を望みます。また経年劣化により白色のラインが見にくくなっており改善が求められています。（とくに夜間時）
- ⑤ コロナ禍で活動に制約を受ける中、松寿荘事業につきましては、利用者協議会と月1回の定例会を中心に緊密な連携を取りながら進めており、コロナ感染症対応についても同様です。新規加入がしにくい同好会があるとの声があります。どなたに対してもいつでも公平・公正な同好会であるように、定例会の場で全体への注意喚起を行うとともに、必要に応じて個別の同好会に対して理解・協力を求めているところです。さらに、今後の同好会のあり方と関連して同好会活動への利用料減免方法についても課題提起を行い、引き続きの重要検討事項とします。
- ⑥ おひさまルームは、令和5年5月8日新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へと移行されたことを受けて表の通り少しずつ制限を緩和しました。
(次ページ※表 参照)

プログラムについては次の通りです。なお、4月～7月は6組、8月以降は8組定員で実施しています。

ベビーマッサージ：毎月1回実施（8月は台風の為中止）

親子ふれあい遊び：4月、8月、1月実施

歯科衛生士のお話：5月、10月実施（3月実施予定）

幼稚園副園長のお話：6月、9月、12月実施（2月実施予定）

栄養士のお話：7月、11月実施

また、7月は水遊び、10月からはおべんとうひろばを再開しました。センター利用者との交流活動も再開し、6月はふれあいセンターまつりに参加、7月は七夕を一緒に行い交流をはかりました。（2月ひな飾り実施予定）

環境整備においては、引き続き高機能換気扇、空気清浄機を使用し、冬場は加湿器を使用。スタッフは出勤時に検温のうえ記録し、不織布マスクを使用。こまめに手指の消毒を行う。洗浄できない物は食品添加物アルコール製剤を噴霧してふき取り。その他の玩具は除菌ボックス（UV、オゾン）で毎日除菌。洗浄できる玩具は月2回界面活性剤入りの洗剤（厚労省推奨）にて洗浄し乾燥。その他、ウッドデッキの貼り替え、日よけシェードを新しく購入。おべんとうひろば用に子どもの椅子を4台購入。洗浄や消毒により傷んだ玩具、設備の点検を行い、適宜新しい物を購入・設置。引き続き利用者（大人、子ども共に）の検温も記録して頂いています。

※表（制限緩和）

2023年 (令和5年)	~3/31迄	4/1~	5/22~	6/1~	7/1~	10/10~
制限人数 または組数	14人	7組	15組	制限なし	制限なし	制限なし
時間制限	60分	60分	90分	90分	制限なし	制限なし
利用回数	一日 一回	一日 一回	一日 一回	一日 一回	一日 一回	制限なし